

校長室だより  
NO. 51  
令和2年2月17日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 「なわとび検定」と「長なわ競技」とで競う「なわとび集会」の充実

2月12日(水)になわとび集会が開催されました。この「なわとび」は、冬場の体力づくりの一環として位置づけたもので、今年度で5年目になります。前号で、本校の子どもたちの運動能力・体力が向上してきたことをお知らせしましたが、このなわとびがその向上の要因の1つにあげられます。なわとびは、特に次の2点をねらいとして取り組んできました。



長なわ競技をがんばる1年生

○ なわとび検定では、自分の目標を定めて自分なりの努力をする。

○ 長なわ競技では、一人一人が協力し合い、学級の団結を高める。

そのため、このなわとび集会は、12月からの「なわとび検定」のがんばり、つまりは級の上がり具合と、この集会での「長なわ競技」の結果で、学年内での学級対抗として競い合いました。結果は次のようでした。

なわとび検定優勝、長なわ優勝、総合優勝学級(☆:新記録)

	なわとび検定	長なわ競技	大会記録	総合
1年	1組	1組(122回)	248回(H29・4組)	1組
2年	5組	1組(225回)	266回(H29・4組)	5組
3年	1組	1組(239回)	297回(H30・1組)	1組
4年	2組	2組(348回)☆	346回(H30・1組)	2組
5年	1組	2組(339回)	393回(H29・2組)	2組
6年	3組	4組(322回)	427回(H28・2組)	4組

※ 特別支援学級は50回でした。

このなわとび集会へ向かう学級の様子は、次のような指導記録として残されています。学級でのなわとび集会への取り組みを通して、子ども一人一人が確実にできるこ

今週は驚いたことがありました。A君が、背中を押さなくても自分で長縄に入って跳べるようになりました。授業参観で「八の字跳び」を、私がタイミングよく背中を押すことで跳べるA君を見て、お家の方は感動されました。そして、家族で公園で長縄を練習されたそうです。連絡カードで「お兄ちゃんの番だよ」と言われると、A君が自分で入って跳べるようになったことを教えてくれました。そこで、学校でもそのように声を掛けてみたところ、自分のタイミングで縄に入り跳べたのです。感動……。 (特別支援学級の担任の指導記録)

とが増えていきます。それは、子ども本人とともに教師や家族の喜び・感動となっています。なわとびができるようになることはとてもうれしいことですが、ただ単にそれだけではなく、子どもとしての自信や人間的な成長となって表れています。そこになわとびに取り組む大いなる価値を感じます。



全校の前で難しい技を披露する上級者

なわとび集会の中では、長なわの競技が終わった後に、なわとび検定で上位の級を合格した代表の子どもたちが、全校の前で難しい技を披露しました。どの子ども、生き生きと自信にあふれる姿が見られました。

次は、なわとび検定の1～3級合格者です。

【1 級】 ※ あや二重後回し5回、交差二重後回し5回

【2 級】 ※ 二重前回し30回、二重後回し10回、あや二重前回し20回、交差二重前回し10回

【3 級】 ※ 二重前回し20回、二重後回し5回、あや二重前回し10回、交差二重前回し5回

なお、なわとび検定合格者数については、6年生が卒業し1年生が入学する子どもの入れ替わりがあっても、上位級の人数は増えてきています。5年前との比較では5級以内の人数は3倍になっています。このデータも、子どもたちが前向きに取り組んでいる表れです。このような結果1つ1つから、本校の運動能力・体力が向上してきていることが分かります。今後も、子どもたちが積極的に上位級を目指した取り組みを進めていきたいと考えています。

なわとび検定の級と合格者数

級	合格者数	級	合格者数	級	合格者数	級	合格者数	級	合格者数
12級	774人 (720人)	11級	721人 (649人)	10級	674人 (552人)	9級	615人 (456人)	8級	460人 (270人)
7級	396人 (186人)	6級	298人 (119人)	5級	213人 (66人)	4級	81人 (27人)	3級	39人 (17人)
2級	23人 (11人)	1級	16人 (7人)	特C	0人 (1人)	・人数は上位級からの累積 ・( )内は平成27年度のデータ			